

第 1 講

§ 1 地図の分類

① 目的による分類

- (1) 一般図……地形図など多目的に用いるように作成された地図。
- (2) 主題図……特定の事象をとりあげて表した地図。土地利用図, 人口分布図, 交通図など。

② 縮尺による分類

縮尺とは, 地図上のある長さ $と地上の実際の長さの比$ 。分母の数の小さいものを縮尺が大きいといい, 逆に分母の数の大きいものを縮尺が小さいという。国土基本図 (1/2,500, 1/5,000) は, 地形図 (1/50,000, 1/25,000, 1/10,000) より縮尺が大きく, 地勢図 (1/200,000) や地方図 (1/500,000) は, 地形図より縮尺が小さい。

③ 作成方法による分類

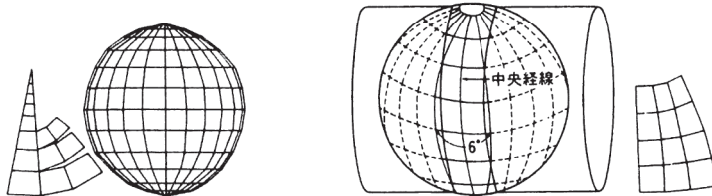
- (1) 実測図……実際に地上でまたは空中写真を用いて測量して作った地図。1/25,000の地形図, 1/2,500と1/5,000の国土基本図。水平的な位置関係の測量には三角点を, 海拔高度の測量には水準点を用いる。
- (2) 編集図……実測図や他の資料をもとに編集して作った地図。1/50,000の地形図は, 1/25,000の地形図4枚を編集, 地勢図は1/50,000の地形図16枚を編集して作った地図。

1 地図の種類

| 分類の基準 | 種類 | 内容 | 例 |
|-------|------|---|--------------------------------------|
| 作成法 | 実測図 | 野外測量や写真測量によって作成された地図 | 国土地理院の2万5千分の1地形図 |
| | 編集図 | 実測図や他の資料をもとに編集された地図 | 国土地理院の5万分の1地形図、ロードマップなど |
| 範囲 | 世界図 | | |
| | 大陸図 | | |
| | 地方図 | | |
| 縮尺 | 大縮尺図 | 縮尺が1万分の1以上の地図 | この分類は絶対的なものではない。 |
| | 中縮尺図 | 縮尺が1万～10万分の1の地図 | |
| | 小縮尺図 | 縮尺が10万分の1未満の地図 | |
| 内容 | 一般図 | 起伏・水系・植生・土地利用・交通路・集落・行政界などいろいろな要素を総合的に示している地図 | 国土地理院の地形図・地勢図・地方図など |
| | 主題図 | 特定の事象をくわしく示している地図 | 海図・気候図・土壌図・地質図・植生図・土地利用図・交通図・人口分布図など |

2 地形図の図法

わが国の地形図は、従来は多面体図法によって描かれていたが、現在では、国際（ユニバーサル）横メルカトル図法によって描かれている。



▲多面体図法

地球を巨大な多面体とみなす。1枚の図は等脚台形となるが、複数の図を切れ目なく平面上に並べることができない。

▲国際（ユニバーサル）横メルカトル図法

メルカトル図法の原理を応用し、経度差6°の幅の範囲を投影する。1枚は不等辺四辺形となり、複数の図を切れ目なく並べることができる。